

吉坊 ゆらり 吐

けんげしや茶屋



主催 公益財団法人 有斐斎弘道館

二〇一七年

十二月九日「土」

十八時開演 (十七時半開場・呈茶)

いたってシャレのきつい旦那。馴染みのお茶屋でシャレが過ぎて、花街中の有名人。

一夜明ければお正月という大づこもりに、友達と考えた作戦とは...

落語には珍しい、大晦日から元旦にかけての斬です。世の中が今よりずっとのんびりとした、ある意味豊かな時代の遊びが垣間見えます。

番組 **呈茶** テーマに合わせて特別につくれる菓子をお楽しみください

落語 桂吉坊による「けんげしや茶屋」

トーク 落語「けんげしや茶屋」と芝居「吉田屋」をテーマに桂吉坊とゲスト木ノ下裕一が語りつくす

会費 **三五〇〇円 (茶菓子代込)**

会場 **有斐斎 弘道館**

京都市上京区上長者町通新町東入ル
元土御門町五二四・一

申込 **〇七五・四四一・六六六二**
kouza@kodo-kan.com

桂吉坊 かつらきちぼっ

一九八一年兵庫県生まれ。一九九九年、桂吉朝に入門。二〇〇〇年より3年間、桂太郎のもとで内弟子修業。以後、古典落語を中心に舞台を重なる。二〇〇七年には「地獄八景 浮世百景」で役者としてデビュー。二〇一二年、咲くやこの花賞大衆芸能部門受賞。

木ノ下裕一 きのしたゆういち

一九八五年和歌山市生まれ。小学校三年生の時、上方落語を聞き衝撃を受けると同時に独学で落語を始め、その後現代の舞台芸術も学ぶ古典演目上演の演出や監督を自らが行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。その他、古典芸能に関する執筆や講演など、多岐にわたって活躍中。